



外国出張報告書

平成 27 年 2 月 27 日

1. 出張国名 フランス
2. 出張月 平成 27 年 1 月～2 月
3. 出張目的 「アフリカにおける長距離移動性害虫の生理・生態と管理技術」
 プロ（科研基盤 B 海外）に関わる調査：B

4. 成果の概要

フランス国立農学研究センター(INRA)では、持続的で生物多様性維持を念頭に置いた農業を推進する観点から、農薬使用を極力抑える方向で害虫防除研究が進められている。特に移動性害虫／侵入害虫対策として、生物的防除法を用いたクリタマバチとオウトウショウジョウバエの防除研究が精力的に行われていた。

また、フランス国際農業研究開発協力センター(CIRAD)では、アフリカ大陸を中心に、サバクトビバッタをはじめとする数種のバッタ類について研究が行われてきた。特にサバクトビバッタでは、GIS を用いて植物の分布状況から発生予察モデルの構築を目指すとともに、バッタが大型のゲノムを持つことを利用して、相変異のメカニズム解明に向け遺伝的取り組みを行っている。日本との共同研究に興味を持つことが明らかになったため、今後の研究発展を目指して可能性を模索したい。